

## ●どんな実験・工作なの？

ものが溶け残るとみんなはどのようにしますか？きっと温めたり水を増やしたりする人が多いはず。ものの温度で変わる溶ける量の違い。その原理を利用して試験管の中に雪を降らせたり、成長する雪を作ったりしてみましょう。

## ● 実験の仕方とコツ

## ★星形の雪☆

①試験管の中にお湯で温めると溶けきるくらいの量の塩化アンモニウムを入れます。

②お湯を入れて塩化アンモニウムを溶かします。

※ここでたくさん溶かして置かないと、雪がキレイに降らないよ！

③ラップと輪ゴムでしっかりとフタをします。



④しずかに試験管をながめていると…。

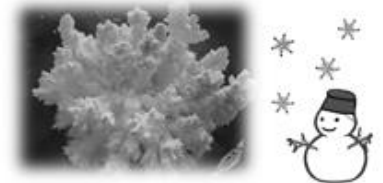
※試験管の中に何も変化が起こらないときには試験管の上の方を軽く叩いてみたり、水につけてみよう♪

## ★成長する雪☆

①水に大量の尿素を溶かします。

※尿素を溶かしたときの液体の温度の変化もさわってみると楽しいか

②モールで好きな形を作り、そこに①で作った液体を吹き付ける。



③ドライヤーで乾かしてみると…。

※この実験は時間が立つほどに変化していきます。お家でも観察してみてください♪

くわしい作り方・ポイントはHP  
に後日掲載します★  
ぜひそちらもみて下さい！



## ●気をつけること！

塩化アンモニウムは園芸店で、尿素はハンドクリームに使用されています。安全ではありませんが薬品なので、口に入れたりしな

## ●もっと詳しく知るためには…

水戸啓明高等学校（旧称 水戸短期大学附属高等学校）のホームページからサイエンスアカデミーにアクセスしていただくと、実験の様子をご覧いただけます。

水戸啓明 サイエンスアカデ

検